

# 讀書の葉

教育 寓話 我子の惡徳

大村仁太郎氏編述、東京市神田區表神保町二番地同文館發行、定價金六十錢

此書は、惡徳養成法一名蟹の横這ひといふ標題で今を距る百二十餘年前始めて世に公にせられた獨このザルツマン氏の著書を基礎として編述せられたものである。第一章世の父母に警告す、第二章惡徳惡習の養成法、となつて居つて、乾燥に理屈ばつて俚耳に入らぬ様にできて居る教育學書とは頗る其撰を異にして居る、まづ初に兒童の不幸に陥る原因は其責父母に在る事を懇切に警告して其覺醒を促し、次に兒童をこういふ人にしようと思

へばこういふ風に悪く教育すればよいとか、あゝいふ家庭に人となればかやういふ悪い人になるとかいふ風に、凡て反面的に悪い側の教育事例が最も通俗的小説的に記されて居るので、たとへば亂雜なる人物を養成するには秩序の觀念を撲滅せよとか、殘酷なる人物養成には動物を虐待して其苦痛の状態を目撃せしめよといふ類の題目である。で此書を手にする人は必ず面白くて知らずく読んで行く間に思はずも、我家庭は如何、我身の言行は果して我子の模範になつて居るか、自分の子供を正しく教育して居るかといふ様な反省に衿を正す事もあらうし、いつの間にか高尚深遠な教育の理法を訓へられて何かと悟る事もあらうし、要するに氣のつかぬ原因が恐るべき結果を來す事を知つて我家我身の改良に志す筈である。お

そらく此書に由りて教育的に莫大の利益を得ぬ人は一人もあらず。記者は此書があらゆる家庭に父母の讀み物として備へられ再讀三讀して我子を惡徳に導かぬ豫防をせられん事を切望する。

女子實踐教育學

本書は多年女子高等師範學校に於て教授の任に當れる、黒田、東兩教授の合著で、専ら高等女學校生徒、師範女生徒の教科書とせん爲めだといふこと。夫で著述の体裁は凡べて、女子といふ立場から見て説かれて居る。従つて家庭教育から幼稚園保育は詳細に説き且つ心意状態の欄に於ては、専ら兒童心意發達の状況を説き詳して其教養の方法に及んで居る。文章も流暢で平易で教科書には適當であらう。其上おつ母さん方も一讀すれば、必

らず教育の何たるかを知るに都合がよからうと思ふ。定價は六十錢、發行所は京橋區南傳馬町二ノ五目黒書店。

家政百ヶ條

これは、大日本女學會より發行する「をんな」の臨時増刊である。發行の趣意は家政に關する法則を一般婦人に辨へしめ戰國の際家内に無駄を生ぜしめず、能く家政を整理せしむるに在りといふことで、載する所百ヶ條三百六十七項、料理より裁縫洗濯、衛生、教育、禮法、家庭の心得べき法令まで、家庭に關することは一切網羅して、然も、極めて通俗で分り易く、簡單で明瞭に記されて居る、殊に、家事衛生などに付きては、随分細かい所まで書かれて居るから、眞に家庭の寶典といつてよ

い、夫で定價は僅に十二錢、これも一般に本書と普及させたいとの目的から来て居るといふこと、

(發行所は麴町區下二番町大日本女學會)

編 圖書教育會 兼 圖書教科書 高等女學校用

此頃、編者の一人から本書一部を贈られたから、聊か本誌を藉りて、女學校の受持の先生方へ御紹介し併せて、一つ二つ、自分の意見をも述べて見ることにした。

本書は、大體、一學年三學期に各一冊づゝ、他に夏期自習用を各學年一冊づゝ、合せて四冊づゝを配當して居る。大體からいつて、従前の圖書教科書と著るしく其選を是にする所は、緒言にもある通り、書中に多く寫眞版を押し入して、以て手本から實物寫生に至る楷梯を一步近くした事である。次

に特に注意すべきは、現今の専門的に流れたる中等學校の圖書教授に鑑み、且つ如何なる材料でも書き得る力を得させんが爲めに、毛筆書も、鉛筆書もペン書も一切併せ用ゐて居ることである。此二點は實に、本書の特色であるが其他、印刷から、彩色から、材料の選擇配合等より教授上微細の點に於ても何れも多大の注意を拂はれた所は、確かに、本書が従前の教科書中に於て、頭角を顯したものと見るべく、又殆んど研究せられなかつた中等教育の圖書教授の方面に向つて確に一新面を開いたものである。そこで、さて本書を採用しようとして第一に起つて來る問題は定價のことである。實際に於て、本書の印刷より其他から見ると高いのではないが従前のに比すると少し不廉だ。最も低い所で一冊二十錢から、上は四十錢まで

ある。而しよく考へて見ると従前には少し易過ぎたかも知れぬ。一學期に之れ丈は仕方あるまい。次には、種々の材料を備へねばならぬ。即ちペンも、鉛筆畫の道具も、水彩畫の道具も、皆一通りは費るといふことである。これはどの位まで備へねばならぬのか僕にはよくは分らぬからいはぬこととして、一番心配なのは、果して十分之を使ひこなす教員があるかどうかといふことである。若し、従來の教員だとすると、夫が中々覺束ない。そうなるに編者の折角の苦心も水泡に歸せねばならぬ。一体、普通教育の學校では、鉛筆畫とか毛筆畫とかの一方に偏するはよくない、何でもかける様に教育するのによいといふのは本書の趣意で、夫には小生もどこまでも同意だ、然し、高等女學校現在の教員で、甘く本書の趣意に由つて何

れも併せて授け得る教員があるかどうか、詳しく言ふと、鉛筆畫も毛筆畫もペン畫もやれる教員があるかどうかといふことであるが、而し苟しくも普通教育の畫の教師としては、先づ普通の畫なら畫けるものと考へて宜しからう、其他にも本書の十分の活用に付きては、生中な教員ではどうかと思はれる節もあるが、其點に付きては何れ、教師用も出來たといふ事だから心配は要るまい、も一つは、かういふ非難も起るかも知れぬ、實際、女學校の様な僅少な時間の處で、そういろ／＼の畫の種類をやつては、丸で蚊蜂取らず、どれにも上達させることが出來まい、これが中で尤もの非難と思ふが此點に付きて圖畫教育會の意見は如何であらうか、尙内容につきて、多少氣付いた所もあるが、長くなるから、夫は次回にでも回さう。

兎に角本書は近來の好著述で其立派の体裁からいつて、各自の家庭に備へて、娛樂にしても宜しいと思ふ。

## 日本の家庭

「日本の家庭」と題する日刊雑誌、来る十日、書肆同文館より發刊せらるべしと。我が國固有の善良優美なる家風を基礎として、時勢の進歩に適應する所の健全なる家庭を理想とし、實際的にして且つ趣味あるものたらしめんとする主義なりと云ふ。殊に目下の重要問題たる家庭教育に至りては、發行所獨特の長所として、大に力を盡すといへば、定めて有益なるものを現出すべく、一般家庭の好讀みものたるべし。定價は一部八錢なりと。詳しくは出た上で、御紹介致すべし。



## 在暹羅河野嬢よりの書面

客年十月、暹羅國河原清子嬢より黒田教授に宛てたる書狀に由るに全嬢近來の消息は次の如し。

(前略) さて、私も俄に遠方に参りまして、まるで井戸の蛙が飛び出したと一向變らないので、随分困りますけれども、旅行上から出来た種々の經驗を得ました事々は、感謝致さねばなりません。夢にも見ようとは思はなかつた土地を見る事も出来、知り人もふえて参りましたから、まづ身に取つては幸福が一つありましたのでありませうか、とは申せ、月あかき夜には舊校の松か枝にかゝりし月を思ひ、暗夜道を照らす電光を見ては、お茶の水橋前の白光を思ひ出し、日として昔を憶ばぬ事はございませぬ。此境界に始終心身をなやまして居